2020
ライブラリー

目　次

図書館（Library）という空間 …… 尾上　選哉… 3

私のおすすめの本 …… 脇本　利紀… 5

私の図書館の思い出 …… 安田　昌平… 7

令和２年度のまとめ …… 9-14

「図書館の再開について（第１版）」…… 15-16

「図書館の入館について（第２版）」…… 17-18

「図書館の入館について（第３版）」…… 19

「図書館の入館について（第４版）」…… 20

「日本大学図書館経済学部分館の臨時休館中における利用者サービスについて」… 21

「臨時休館中の図書館（学生向け）サービスについて」 …… 22-24

「図書の郵送による貸出サービスについて」…… 25-26

「図書の郵送による貸出について（改正）」…… 27-28

図書館（Library）という空間

尾上　選哉　教授

（会計学・国際会計論）

仕事柄であるか、どうかわからないが、図書館という空間が気に入っている。図書館の建物前の広場やスペース、入口、ロビー、秩序整然と並んだ本棚、地下奥深くにある書庫、同じ背表紙に製本された雑誌、大きな学習机や個人用机のならぶ閲覧スペース。図書館を訪れる人が思い思いの時間を過ごすところ。

小学校時代の図書館は、図書室ではなく、まさに図書館であった。教室などの建物から渡り廊下でつながった、木造平屋の図書館だった。お気に入りは『シートン動物記』、『15少年漂流記』等の冒険もの、また偉人たちの伝記の類いであったが、この頃の記憶は図書館掃除で、ほうきなどを振り回しながら遊んだ記憶の方が鮮明に残っているのだが。

大学院に入学して、初めて地下にある書庫という特別なスペースに足を踏み入れた。大きな電動の書架が置かれ、どのようにその電動書架を動かせばよいか戸惑ったのを覚えている。このような地下の書庫には多くの人はおらず、自分たった一人ということも少なくない。図書館という空間が何となく好きになったのは、この頃からだと思う。

米国に留学した時の図書館も忘れられない。映画では一場面としてよく見ていたが、真夜中まで学生が図書館にこもり、思い思いの時間を過ごしている。書架の前に座り込んでいる書籍を一新に読みふけっている人もいれば、大きな書籍をテーブルいっぱいに拡げ、黙々と勉強している人も。自分もそんな一人になりたくて、レポート課題の資料収集のために、また定期試験のために、図書館に通った時代がなつかしい。当時は、E-mail が少しずつ使われ始めた時代で、もちろん今のようなインターネットで、世界中の資料を検索して、閲覧できるような時代ではなかった。図書館に行かなければ、情報が手に入らなかったのだ。

留学後、帰国して大学院の博士後期課程に進学。まさにそれ以来、図書館という空間は自分の仕事場の延長線上にある大事なところとなっている。また、空間だけでなく、図書館で働く司書の方々には大変お世話になってきた。資料の探し方から始まり、資料の複写依頼や取り寄せなど。相談すれば、親身になって、私の目当ての資料を探してくれた。感謝でいっぱいだ。

２年前に研究調査で New York City を訪れる機会があった。その際に訪問した図書館が忘れられない。The New York Public Library（ニューヨーク公共図書館）である。図書館の名称に「Public」という文字があるが、州立や市立の図書館ではなく、民間の非営利組織（NPO）である The New York Public Library, Astor, Lenox and Tilden Foundations という財団法人によって運営されている「Private（私立）」の図書館である。New York City の中に 92 の本館・分館があるが、本館はマンハッタンにあるブライアント・パーク内、マンハッタンのど真ん中である。本館建物もボザール様式の建築物として有名であるが、圧巻は閲覧室である。

仕事から離れても、こんな図書館に通うことができたら、どんなに人生は Happy なのだろうかと思った瞬間であった。New York City を訪問する際には、是非、足を伸ばして欲しい場所である。ちなみに、映画「Ex Libris: The New York Public Library（邦題：ニューヨーク公共図書館エクス・リブリス）」にもなっているので、コロナ禍の中、ゆっくりと映画鑑賞するのもいいかもしれない。

私のおすすめの本

脇本　利紀　教授

（租税法）

（１）伊藤恭彦著『タックス・ジャスティス―税の政治哲学』　風行社、2017 年

米国の政治家・外交官で、著述家、科学者などとしても多彩な才能を発揮した Benjamin Franklin(1706-90)は、

In this world nothing can be said to be certain, except death and taxes.

（この世で確実と言えるのは、死と税金だけである。）

という言葉を残しています。確かに税は私たちにとって不可避の存在であり、同時に私たちの社会や暮らしを支えていく重要な財源となるものです。しかし税の重要な役割を十分理解していても、いざ納税となると誰しも「痛税感」を伴いますし、税は安いほうが良いが、医療費の自己負担は低いほうが良いといった矛盾した意見を持つこともあるでしょう。

本書は、社会契約の原理に立ち返り、どのような社会を形成していくべきか、つまり、社会の「共同目的」を達成していくためには、どのような税制を選択すべきなのか、ということを真正面から論述しています。また、本書は「正義論」で有名なロールズの政治哲学に言及していますが、私のような政治哲学には門外であっても理解できるよう平易な文体で説き起こしています。税は苦役なのか、なぜ税は必要なのか、なぜ累進課税制度が必要なのかなどについて、租税法や税を深く考え得る糧となる良書です。財務省の資料によると令和２年度末普通国債残高は約９６４兆円（見込み）であり、これは、一般会計税収の約１５年分に相当するとのことです。このような状況の下でタックス・ペイヤーとなっていく学生の皆さんにはぜひ読んでほしいと思います。

（２）B.オーバーマイヤー、F.オーバーマイヤー著（姫田多佳子訳）『パナマ文書』KADOKAWA　2016 年

オフショア金融センターでの会社設立や運営代行等を手掛けるパナマを拠点とする法律事務所から流出したとされる「パナマ文書」を「国際調査報道 ジャーナリスト連合（ＩＣＩＪ）」が入手し、世界各国のジャーナリストと連携して緻密な取材を展開し、公

表に至った経緯を当事者たちが綴ったものです。公表された情報は、1970 年代から 2015 年末までの 40 年間の文書からなるもので、出資した個人・法人の名称や、設立法人の所在地、設立年月日などで、この「パナマ文書」の流出により、国際的な租税回避や脱税、マネーロンダリングなどの問題が浮き彫りとなりました。オフショアとはいわゆるタックスヘイブン国・地域のことですが、世界の富裕層たちがタックスヘイブンなどで何をしているのか、その一端を知ることができますし、国際間の協調によりこの問題に対処していく必要性や重要性を強く実感すると思います。上記⑴同様に、タックス・ペイヤーとなっていく学生の皆さんにはぜひ知っていただきたい内容であると思います。

（３）司馬遼太郎著『坂の上の雲』　文春文庫

国民的な作家の代表作で、映像化もされ、いまさら紹介するのはどうかとも思いましたが、私自身、大きな影響を受けた 1 冊ですのであえて取り上げました。はじめて読了したのは高校生の頃で、その後、何回か読み返しました。最初は主人公たちの英雄伝として読んでいましたが、やがて私自身が組織の一員としての経験を積むにつれて、組織と人間という観点からこの本を読んでいったように思います。おそらく組織の中で与えられた役割を自覚し、それ責務を全うする姿に感銘を受けたのかもしれません（私は門外ですが、政治哲学でいうところの「コミュニタリアニズム」でしょうか。）。総司令官の大山巌は作戦を統括する児玉源太郎がその能力を最大限に発揮できるような環境を作るとともに、劣勢の時にも微動なりすることなく組織を維持していきます。秋山真之は参謀として最も効率的で効果的な作戦の立案に当たりますし、兄の秋山好古は前線指揮官として逃げることなく、また、誰に責任転嫁することもなく苦難に立ち向かいます。何回読んでも、私にはいささか欠けている主人公たちの実践的知恵に気付かされる思いです。ちなみに私は「竜馬がゆく」からは利が理に勝ることがある、「播磨灘物語」からは組織における男の嫉妬、「箱根の坂」からは人生　50　代から、「花神」からは超合理性が時代を変え得る、「戦車　この憂鬱な乗り物」からは合理的精神の重要性、といったことも学んだように思います。

私の図書館の思い出

安田 昌平 助教

（ミクロ経済学）

私は，大学生になって図書館を利用することが本当に多かった。小中高では，図書館をほとんど利用したことがなく，勉強する場といえば学習塾だった。しかし，大学では勉強しようとすると，図書館しか選択肢がなかったため，時間があるときは図書館にこもっていた。特に，試験期間中は，朝一番に図書館に行き，閉館間際まで居座っていた。もちろん，自宅で勉強することも可能だったが，自宅には誘惑が多すぎたため，物理的に誘惑から離れる必要があった。また，図書館に行くと，なんだか勉強のやる気が上がるような気がした。私のお気に入りの席は，決まって図書館内を見渡せる席だった。開放感があって，だれもいない図書館でポツンと勉強している自分の哀愁に浸っていたかった。開放感がある場所で勉強するのは今でも好きで，自然光にあたりながら本を読むとリフレッシュできる気がしている。

当時は，授業の成績はもちろん，経済学検定で良い成績を取りたかったので，図書館に行っては，ミクロ経済学，マクロ経済学の演習本をせっせと解いていた。すると，必ずと言っていいほど，授業で習わない上級の内容が出てきては，専門書をあさっていた。もちろん，所有する専門書では対応できない問題もあるため，そのような時は，図書館をウロウロとしながら，大学院レベルの専門書を見つけて，頭を抱えながら問題を解いていた。上級の専門書を読むと，今自分は経済学の真髄を学んでいるという優越感を感じた。その一方で，数式も多く，とにかく難しい印象だった。

大学２年の後半には，経済学検定で良い成績をとれたこともあり，指導教授から大学院に行ってみないかといわれた。その時は，大学院という選択肢は全く考えていなかったので，戸惑いもあったが，面白そうだし行ってみようかなと，比較的気楽に考えていた。今思い返せば，図書館で読んでいた，あの上級の専門書をしっかりと学べるのだというワクワク感もあった気がする。

その日からは，ほぼ毎日図書館に行き，より一層，ミクロ経済学とマクロ経済学の勉強に励んだ。３年からは，少人数の勉強会で計量経済学の英語のテキストを輪読することになり，計量経済学の専門書も図書館で手にすることが増えていった。英語の教科書というだけでビビっていた私は，図書館で日本語のテキストと英語のテキストを並べて，とにかく内容を理解しようと努めた。幸いにも，日本語のテキストは図書館にたくさんあったの

で，わからない箇所があれば，棚からごっそりとテキストを机に運び，テキストを山のように積み上げて必死に勉強していた。

大学院進学後は，自分の学習机が配給されたことで，学部時代ほど図書館を利用する機会は少なくなったが，それでも集中して勉強したいときは図書館を利用していた。特に，大学院では様々な分野の最先端の研究を聞く機会が多々あり，その内容を理解するために，その分野の本を図書館で見つけては，関連分野の本もパラパラと読んでいた。これにより，分野間の関係も整理でき，最先端の研究も何となく理解できた。

このように，図書館は私にとって大切な勉強の場だった。一日中，図書館で勉強し，閉館と共に図書館を出たときの充実感は何とも言えないものだった。現在は，コロナの影響でなかなか図書館の利用もできないが，落ち着いたら，大学生時代を思い返しながら図書館で一日過ごしてみたいなとおもっている。

学生の皆さんも，時間があるときに図書館に足を運んでみてはいかがですか。図書館で勉強すると，勉強スイッチが入って気分転換にもなるし，興味のある分野の本を気軽に手に取ってみると，意外な発見があって面白いですよ。

令和 2 年度のまとめ

○開館日数・時間と入館者・貸出数

	令和 2（2020）年度	令和元（2019）年度	平成 30（2018）年度
開館日数	**225 日**	269 日	274 日
開館時間数	**2,108 時間 50 分**	2,865 時間 50 分	2,896 時間 55 分
入館者数	**7,339 人**	231,577 人	228,715 人
入館者数（1 日平均）	**32.6 人**	860.9 人	834.7 人
入館者数（1 時間平均）	**3.5 人**	80.8 人	78.95 人
貸出冊数	**3,417 冊**	12,153 冊	12,528 冊
（郵送貸出冊数）	**（79 冊）**		

○新型コロナ感染症拡大防止への対応とサービスについて

・臨時休館と開館時間の変更について

期間	開館	開館時間	緊急事態宣言	ガイドライン
4/1～4/7	短縮開館	平日:10:00-17:00	緊急事態宣言 (4/7～5/25)	
4/8～5/31	臨時休館	臨時休館		
6/1～8/8	月-金:短縮開館 土:通常開館(7/25～短縮開館)	月－金:短縮開館 土:通常開館 (7/25～8:55～15:00)		図書館の再開について(第 1 版)
8/9～9/13 (夏季休暇期間)	短縮開館	平日:10:00-17:00		
9/14～10/11	月-金:短縮開館 土:通常開館	月-金:10:00-19:00 (9/23 以降の水:-20:00) 土曜日:8:55-16:55		図書館の入館について(第 2 版)
10/12～1/12	通常開館	月－金:8:55-21:00 土:8:55-16:55	緊急事態宣言 (1/8～3/21)	図書館の入館について(第 3 版)
1/13～1/15	短縮開館	月－金:9:00-18:00 土:9:00-16:00		図書館の入館について(第 4 版)
1/16～3/31 (春季休暇期間)	短縮開館	月－金:9:00-18:00 土:9:00-16:00		

・利用対象者・人数・時間・施設の利用制限等について

期間	利用対象者	人数制限	時間制限	備考
4/1～4/7	通常時の利用条件			
4/8～5/31	臨時休館 ※5/18～31は，事前予約制で平日12:00～16:00に，経済学部専任教員に対して，館内閲覧・複写を許可し，貸出を行った。（日本大学図書館経済学部分館の臨時休館中における利用者サービスについて）			
6/1～9/13	経済学部学生 経済学部研究科学生 経済学部教職員	20 人	連続 70 分まで	・月-金の 16:50 以降と土曜日は，学部 4 年生と経済学研究科院生を除き利用不可 ・地下書庫入庫制限実施 ・ラーニングコモンズとグループスタディルームの利用休止
9/14～10/11	経済学部学生 経済学部研究科学生 経済学部教職員 日本大学通信教育部学生	60 人	連続 120 分まで	・地下書庫入庫制限実施 ・ラーニングコモンズとグループスタディルームの利用休止
10/12～3/31	経済学部学生 経済学部研究科学生 経済学部教職員 日本大学通信教育部学生	人数制限なし	時間制限なし	・緊急事態宣言中（1/8-3/22）はラーニングコモンズとグループスタディルームの利用休止

・「日本大学健康観察システム」の利用と「自宅待機解除基準について」の準拠

・マスクの着用

・入館時の手指消毒と備品使用後の消毒

・個人利用時の会話不可

・席数を 50%に制限

・図書館カウンターとラーニングコモンズボックス席にアクリル板等による仕切りの設置

・卒業・修士・学位論文等の研究支援の一環として図書の郵送貸出（29 件 79 冊）

期間	対象者	貸出冊数	貸出期間	文献複写の送付	文書
5/18～5/29	経済学部 4 年生 経済学研究科 博士前期課程 2 年生 博士後期課程 3 年生	5 冊	学部学生:1 か月 大学院生:3 か月	可	臨時休館中の図書館(学生向け)サービスについて
8/3～9/24	経済学部 4 年生 経済学研究科学生	5 冊	学部学生:1 か月 大学院生:3 か月	不可	図書の郵送による貸出サービスについて
9/25～3/31	経済学部学生 経済学研究科学生	5 冊	学部学生:1 か月 大学院生:3 か月	不可	図書の郵送による貸出について(改正)

・特別措置によるデジタルコンテンツの学外利用について

デジタルコンテンツ名	期間	対象者	内容	備考
聞蔵Ⅱ	4～3 月	経済学部学生・専任教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
日経テレコン	5～3 月	経済学部学生・専任教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
ヨミダス歴史館	5～12 月	経済学部学生・専任教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
東洋経済デジタルコンテンツ ライブラリー	5～3 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
日経 BP 記事検索サービス	5～3 月	経済学部学生・専任教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
eol	1～3 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
Margent Online	5～3 月	経済学部学生・専任教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
JdreamⅢ	8～3 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
Magazine Plus	5～8 月	経済学部学生・専任教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	
NEEDS Financial QUEST	10～3 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	申請により学外利用可	
D1-Law (財務・会計データベース)	4～9 月	経済学研究科学生 専任教員	申請により学外利用可	
Wall Street Journal	4～3 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	学外から利用登録可	
中日・東京新聞	7～3 月	経済学部学生・専任教職員 経済学研究科学生	MyOPAC 経由で学外利用可	トライアル
D1-Law(判例体系)	5 月	経済学研究科学生 専任教員	申請により学外利用可	トライアル
EBSCOhost	6～8 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	学認経由で学外利用可	トライアル
EBSCOeBooks	6～8 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	学認経由で学外利用可	トライアル
Univetsity Press Collection	6～8 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	学認経由で学外利用可	トライアル
ProQuest Central	5～6 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	学認経由で学外利用可	トライアル
ProQuest Dissertation & Theses Global	5～6 月	経済学部学生・教職員 経済学研究科学生	学認経由で学外利用可	トライアル

○デジタルコンテンツの新規導入

THE WALL STREET JOURNAL.

Dow・Jones 社が発行する経済・ビジネス日刊紙『The Wall Street Journal』の電子版を導入した。

毎索 マイサク

毎日新聞と、週刊エコノミストの記事等が検索・閲覧できるデータベース『毎索』を導入した。

○1 年生図書館ガイダンス・図書館見学ツアーの開催

・自主創造 A の教材として，図書館ガイダンスの電子コンテンツを提供した。

・初めて図書館を利用する 1 年生に対して，来館時に個別に図書館見学ツアーを開催した。

○一年生歓迎プログラム～来たれ一年生～　図書館見学ツアー

10 月 31 日・11 月 1 日・11 月 2 日に開催された，一年生歓迎プログラムで，約 1300 名の 1 年生が，図書館の見学ツアーで入館した。

○学生協働・イベント

・学生選書ツアー

11 月 9 日（月）から 11 月 17 日（火）に学生選書ツアーをオンラインと対面で開催した。

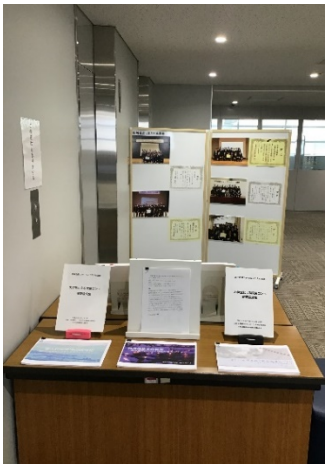
4 名が参加し，例年は，書店で開催していた学生選書ツアーを，新型コロナウイルス感染症を考慮して，電子図書館システムの『Kinoden』と『LibrariE』で電子ブックを選書する方法で開催した。最終日の 11 月 17 日（火）に交流会を対面で開催し，選書した本から一人 1 冊を選んで発表し，交流した。

・ゼミナール研究成果の展示

図書館４階のエレベータホールに, 以下の２つのゼミナールの研究成果の展示を行いました。

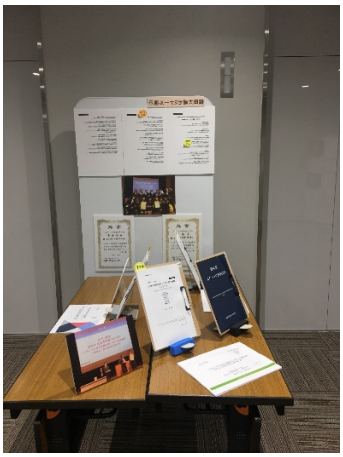
（中川雅之ゼミナール）

２０１９年『公共政策フォーラム』参加・受賞の記録をもとにした展示（3 月中旬から 10 月末）



（鶴田大輔教授ゼミナール）

２０１９年『ISFJ 日本政策学生会議政策フォーラム』参加・受賞の記録をもとにした展示（７月初めから 10 月末）



・卒業生による推薦図書の展示

後輩への推薦図書を，作成した POP と共に１階ラーニングコモンズに展示しました。

○受賞本の展示

「芥川賞(日本文学振興会主催)」「直木賞(日本文学振興会主催)」「本屋大賞(本屋大賞実行委員会)」「ノンフィクション本大賞（Yahoo!ニュース)」「日経・経済図書文化賞(日本経済新聞社と日本経済研究センター共催)」「読売・吉野作造賞(読売新聞社、中央公論新社主催)」「労働関係図書優秀賞(労働政策研究・研修機構)」の受賞本や「ノーベル賞受賞関連図書」の展示をおこないました。

以　上

図書館の再開について（第１版）

令和２年５月２９日

緊急事態制限の解除に伴い，未だに収束に至らない新型コロナウィルス感染症罹患のリスクを考慮して，一定の制限による図書館の再開をいたします。当面は下記のとおり利用とさせていただきます。御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1　図書館入館の際には以下のことを遵守してください。

① 入館者は日本大学経済学部及び大学院経済学研究科に在籍している学生及び教職員に限定いたします。それ以外の方は利用をご遠慮願います。

② 過去８日間以内に体調異常(咳,くしゃみ,呼吸困難,息切れ,強いだるさ,味覚異常,嗅覚異常)がなかったか「日本大学健康観察システム」等の記録を確認し,異常が確認された場合は入館をお断りします。

③ マスクを必ず着用し，館内ではマスクを外さないでください。
※マスクの配布は行いません。各自で事前にご準備ください。

④ 入館する際には，必ず手指消毒をしてください。

⑤ 図書館内での会話は厳禁です。

⑥ 他の利用者との距離（２ｍ以上）を十分に保ってください。

⑦ 図書館内では図書館スタッフの指示に従ってください。

※ 上記のことが守れない利用者は退館していただきます。

2　図書館の再開開始
令和２年６月１日（月）

3　開館時間
月曜日~金曜日_8:55～18:00，土曜日_8:55～16:55
※変更時は図書館ホームページでお知らせします。

4　入館制限について
当面の間は『三密』を避けるため以下のとおり入館制限させていただきます。
※経済学部の方針，社会情勢及び図書館の利用状況等により，随時，見直します。

① 入館者数の定員は２０名です。

② 利用時間は最長７０分に制限します。なお，使用時間帯は以下の表とおりです。
先着順で定員に達した時点で入館できなくなりますので，予めご了承ください。

	平日時間帯		土曜日時間帯	
	入館時間	清掃時間	入館時間	清掃時間
(1)	8:55~10:05	10:05~10:30	8:55~10:05	10:05~10:35
(2)	10:30~11:40	11:40~12:05	10:35~11:45	11:45~12:20
(3)	12:05~13:15	13:15~13:40	12:20~13:30	13:30~14:00
(4)	13:40~14:50	14:50~15:15	14:00~15:10	15:10~15:45
(5)	15:15~16:25	16:25~16:50	15:45~16:55	
(6)	16:50~18:00			

③　以下の時間については，学部４年生及び大学院生に限定します。
⑴　月曜日～金曜日：１６時５０分以降
⑵　土曜日　　：終日
④　清掃時間中は入館できません。
⑤　資料複写場所は以下のとおりです。
⑴　学部生　　：４階コイン式
⑵　教員及び大学院生：カウンターにご相談ください。
⑥　地下書庫，ラーニングコモンズ及びグループスタディルームは利用できません。
※地下書庫所蔵資料はカウンターにご相談ください。
⑦　書架から取り出した資料は，書架に戻さずに返本台に置いてください。
⑧　入退館は１階のみになります。
⑨　図書の貸出・返却及びカウンターサービスは事前に OPAC 等で所蔵の有無や配架場所の確認をして，所用が済み次第速やかに退館し館内の滞在時間削減に御協力ください。

以　上

図書館の入館について（第２版）

令和２年８月７日

令和２年５月２９日付け「図書館の再開について（第１版）」に基づき，「図書館入館について（第２版）」を策定いたしましたので，当面は下記のとおり御利用いただきたく御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

１　図書館入館の際には，以下のことを遵守してください。

①　入館者は日本大学経済学部及び大学院経済学研究科に在籍している学生及び教職員，日本大学通信教育部に在籍している学生に限定いたします。それ以外の方は利用を御遠慮願います。

②　日本大学経済学部ホームページ「日本大学健康観察システム」の利用及び自宅待機・解除の基準について（令和２年 ６月８日公開）を準拠できない場合は，入館できません。
また,「新型コロナウイルス接触確認アプリ（厚生労働省）」のインストールをお願いいたします。

③　マスクを必ず着用し，館内ではマスクを外さないでください。
※マスクの配布は行いません。各自で事前にご準備ください。

④　入館する際には，必ず手指消毒をしてください。

⑤　図書館内での会話は厳禁です。

⑥　他の利用者との距離（２ｍ以上）を十分に保ってください。

⑦　図書館内では図書館スタッフの指示に従ってください。

※　上記のことが守れない利用者は退館していただきます。

２　運用開始日
令和２年９月１４日（月）

３　開館時間
月曜日～金曜日_１０：００～１９：００_※ただし，水曜日については開館時間を１時間延長し，２０：００までとします。
土曜日_８：５５～１６：５５
※変更時は図書館ホームページでお知らせします。

４　入館制限について
当面の間は『３密』を避けるため以下のとおり入館制限させていただきます。
※経済学部の方針，社会情勢及び図書館の利用状況等により，随時，見直します。

①　入館者数の定員は６０名です。

②　利用時間は最長１２０分に制限します。なお，利用時間帯は以下の表とおりです。先着順で定員に達した時点で入館できなくなりますので，予め御了承ください。

	平日時間帯（水曜日除く）		土曜日時間帯	
	入館時間	清掃時間	入館時間	清掃時間
(1)	10:00～12:00	12:00～12:20	8:55～ 9:55	9:55～10:15
(2)	12:20～14:20	14:20～14:40	10:15～12:15	12:15～12:35
(3)	14:40～16:40	16:40～17:00	12:35～14:35	14:35～14:55
(4)	17:00～19:00		14:55～16:55	

	水曜日時間帯	
	入館時間	清掃時間
⑴	10:00～12:00	12:00～12:20
⑵	12:20～14:20	14:20～14:40
⑶	14:40～16:40	16:40～17:00
⑷	17:00～18:20	18:20～18:40
⑸	18:40～20:00	

③　清掃時間中は入館できません。

④　資料複写場所は以下のとおりです。

⑴　学部生　　：４階コイン式

⑵　教員及び大学院生：カウンターに御相談ください。

⑤　ラーニングコモンズ及びグループスタディルームは利用できません。

※地下書庫所蔵資料はカウンターに御相談ください。

⑥　書架から取り出した資料は，書架に戻さずに返本台に置いてください。

⑦　入退館は１階のみになります。

⑧　図書の貸出・返却及びカウンターサービスは，事前にＯＰＡＣ等で所蔵の有無や配架場所の確認をして，所用が済み次第速やかに退館し館内の滞在時間削減に御協力ください。

⑨　貸出図書の返却目的のみで来館した利用者は，３号館入口の図書返却ポストに投函後，速やかに退出してください。

以　上

図書館の入館について（第３版）

令和２年１０月８日

令和２年８月７日付け「図書館の入館について（第２版)」を改正し，「図書館の入館について（第３版)」を策定いたしましたので，当面は下記のとおり御利用いただきたく御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

１　図書館入館の際には，以下のことを遵守してください。

①　入館者は日本大学経済学部及び大学院経済学研究科に在籍している学生及び教職員，日本大学通信教育部に在籍している学生に限定いたします。それ以外の方は利用を御遠慮願います。

②　日本大学経済学部ホームページに掲載の「日本大学健康観察システム」の入力及び自宅待機・解除の基準について（令和２年６月８日公開）を準拠できない場合は，入館できません。
　また，厚生労働省公式アプリ「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA)」のインストールをお願いいたします。

③　マスクを必ず着用し，館内ではマスクを外さないでください。
　※マスクの配布は行いません。各自で事前に御準備ください。

④　入館する際には，必ず手指消毒をしてください。

⑤　退館する際には，利用した席の消毒をしてください。

⑥　図書館内での会話は厳禁です。

⑦　他の利用者との距離（２m以上）を十分に保ってください。

⑧　図書館内では図書館スタッフの指示に従ってください。

⑨　利用者については，その滞在時間等を記録いたします。

※　上記のことが遵守できない利用者は，退館していただきます。

２　運用開始日
　令和２年１０月１２日（月）

３　開館時間
　月曜日～金曜日_８：５５～２１：００
　土曜日_８：５５～１６：５５
　※通常の開館時間となりますが，変更する際は改めて図書館ホームページでお知らせします。

４　入館制限について
　入館者数及び利用時間の制限はありません。
　※経済学部の方針，今後の社会情勢及び図書館の利用状況等により，随時，見直します。

①　ラーニングコモンズ，グループスタディルーム及び地下書庫所蔵資料の利用については，図書館カウンターに御相談ください。
　※ラーニングコモンズ及びグループスタディルームは，収容定員の五割を目安に利用することできます。

②　書架から取り出した資料は，書架に戻さずに返本台に置いてください。

③　入退館は１階のみになります。

④　貸出図書の返却目的のみで来館した利用者は，３号館入口（閉館時は３号館裏の通用口）の図書返却ポストを御利用ください。

以　上

図書館の入館について（第４版）

令和３年１月１２日

令和２年１０月８日付け「図書館の入館について（第３版)」を改正し,「図書館の入館について（第４版)」を策定いたしましたので，下記のとおり御利用いただきたく御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

１　図書館入館の際には，以下のことを遵守してください。

①　入館者は日本大学経済学部及び大学院経済学研究科に在籍している学生及び教職員，日本大学通信教育部に在籍している学生に限定いたします。それ以外の方は利用を御遠慮願います。

②　日本大学経済学部ホームページに掲載の「日本大学健康観察システム」の利用及び自宅待機・解除の基準について（令和２年６月８日公開）を準拠できない場合は，入館できません。
　また，厚生労働省公式アプリ「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA)」のインストールをお願いいたします。

③　マスクを必ず着用し，館内ではマスクを外さないでください。
　※マスクの配布は行いません。各自で事前に御準備ください。

④　入館する際には，必ず手指消毒をしてください。

⑤　退館する際には，利用した席の消毒をしてください。

⑥　図書館内での会話は厳禁です。

⑦　他の利用者との距離（２m以上）を十分に保ってください。

⑧　図書館内では図書館スタッフの指示に従ってください。

⑨　利用者については，その滞在時間等を記録いたします。

※　上記のことが遵守できない利用者は，退館していただきます。

２　運用期間

令和３年１月１３日（水）～ 令和３年３月３１日（水）

３　開館時間

平　日　９：００～１８：００

土曜日　９：００～１６：００

※変更の場合は，図書館ホームページでお知らせします。

４　入館制限等について

入館者数及び利用時間の制限はありません。

※経済学部の方針，今後の社会情勢及び図書館の利用状況等により，随時，見直します。

①　ラーニングコモンズ(地下１階)及びグループスタディルームは，緊急事態宣言期間中は利用できません。
　地下書庫所蔵資料の利用については，図書館カウンターに御相談ください。

②　書架から取り出した資料は，書架に戻さずに返本台に置いてください。

③　入退館は１階のみになります。

④　貸出図書の返却目的のみで来館した利用者は，３号館入口（閉館時は３号館裏の通用口）の図書返却ポストを御利用ください。

以　上

日本大学経済学部
専任教員 各位

日本大学図書館経済学部分館
分館長 根村直美

日本大学図書館経済学部分館の臨時休館中における利用者サービスについて

標記のことについて，下記のとおり使用者サービスの実施を通知いたします。

記

1 実施期間 令和２年５月１８日（月）～５月３１日（日）
2 実施時間 平日（月曜日～金曜日）の１２：００～１６：００
3 サービス 日本大学図書館経済学部分館での館内閲覧，複写，図書貸出
4 対象教員 日本大学経済学部専任教員
5 入館方法 ①経済学部では入構制限かにありますので，予め庶務課に研究室入構届を提出後に，事前に図書館事務課メールアドレス宛にメール添付にて送信願います。
②３号館通用口より入館後，入退館ゲートを通過し，カウンターにお越し下さい。
6 依頼事項 ①マスクを必ず着用して下さい。
②館内の滞在時間は３０分以内でお願いします。
③所蔵資料の複写については，図書館事務課事務室内の複写機をご利用下さい。
④資料閲覧については，２階閲覧席で密着を避けるようご注意願います。
⑤研究費図書の検収及び受渡しについては，別途担当者から連絡させていただきます。
7 備　考 5月１８日（月）及び１９日（火）については、当日３号館入館前にメールにてご一報いただければ対応させていただきます。
図書館事務課連絡先:library-hp.eco+2020@nihon-u.ac.jp

以　上

臨時休館期間中の図書館（学生向け）サービスについて

学部生及び大学院生の卒業・修士・学院論文等に対する研究支援の一環として，下記のとおりサービスを実施します。

記

1　提供サービス　①　図書の郵送による貸出
②　文献複写の郵送による送付

2　対　象　者　日本大学経済学部及び大学院経済学研究科に在籍する者
①　経済学部４年生
②　大学院経済学研究科（博士前期課程）２年生
③　大学院経済学研究科（博士後期課程）３年生

3　対象期間　令和２年５月１８日（月）～令和２年５月２９日（金）

4　申　請　先　図書館事務課連絡先：library-hp.eco+2020@nihon-u.ac.jp
対応時間は平日（月曜日～金曜日）の１０：００～１６：００となります。

5　申請方法　別記のとおりとします。

6　個人情報の取扱い　収集した個人情報については，本サービス対応以外に使用することはありません。なお，個人情報保護については，「日本大学における個人情報の取扱いに関するガイドライン」に基づいて管理します。
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/sitepolicy/policy/

7　備　　考　不明な点等がありましたら，図書館事務課連絡先までメールにて問い合わせてください。また，在籍ゼミの指導教員と連携をお願いします。

以　　上

別記１　図書の郵送による貸出

⑴　貸出冊数と期間については以下のとおりです。
　　貸出冊数　５冊まで
　　※特別対応のため，通常貸出とは貸出冊数が異なります。
　　貸出期間　学部生：１ヶ月，大学院生：３ヶ月
⑵　OPAC で図書館（日本大学図書館経済学部分館）所蔵確認をする。
　　※所蔵していない図書，貸出中の図書は貸出ができません。
　　また，参考図書等の一部貸出不可の図書があります。
⑶　所蔵確認が取れた図書を，図書館事務課連絡先にメール（メール送信フォーム「図書の貸出郵送申請フォーム」のとおりに作成）で送信して下さい。
　　※申請した図書が貸出不可の場合は，図書館から NU-Gmail にアドレスに連絡します。
⑷　郵送料については図書館が負担します。
⑸　レターパックで郵送します。
⑹　返却は，貸出図書の到着日から，６月１日以降の貸出期間内に図書館カウンターに持参して下さい。なお，返却が期限内に困難な場合は，事前に図書館事務課連絡先にメールにて相談して下さい。

「図書の貸出郵送申請フォーム」

タイトル（件名）： 図書の貸出郵送申請
本文： ①氏名_ ②学科_ ③学生番号_ ④郵送先郵便番号_ ⑤郵送先住所_ ※マンション，アパート等名称と部屋番号まで正確に記載して下さい。 ⑥NU-Gmail アドレス_@g.nihon-u.ac.jp ⑦貸出希望図書情報（希望する冊数分記載して下さい。）_ - 1 冊目- ⑴書名（図書のタイトル） ⑵資料番号 ⑶請求記号 ⑷配架場所（〇階） - 2 冊目以降同様に 5 冊まで～

別記２　文献複写の郵送による送付

⑴　他機関からの文献複写を希望する場合は，申請を MY OPAC で行って下さい。
　　方法は別添の文献複写申し込みの手順に従って行って下さい。
⑵　受取を郵送で希望する場合は，MY OPAC で申請後に図書館事務課連絡先にメール（メール送信フォーム「文献複写郵送申請フォーム」のとおりに作成）で送信して下さい。
⑶　文献複写について，所蔵している相手館の状況により申込できない場合があります。
　※申請した文献が提供不可の場合は，図書館から NU-Gmail アドレスに連絡します。
⑷　郵送料については図書館が負担します。
　　文献複写の経費が別途必要となります。
　　日本大学他学部分館からの取り寄せ：１０円／１枚
　　他機関からの取り寄せ　　：複写料金と相手館からの送料の実費
⑸　レターパックで郵送します。

「文献複写郵送申請フォーム」

タイトル（件名）： 文献複写郵送申請
本文： ①氏名_ ②学科_ ③学生番号_ ④郵送先郵便番号_ ⑤郵送先住所_ ※マンション，アパート等名称と部屋番号まで正確に記載して下さい。 ⑥NU-Gmail アドレス_@g.nihon-u.ac.jp ⑦文献複写を依頼した文献名_

図書の郵送による貸出サービスについて

学部生及び大学院生の卒業・修士・学位論文等に対する研究支援の一環として，下記のとおりサービスを実施します。

記

1　提供サービス　図書の郵送による貸出

2　対　象　者　日本大学経済学部及び大学院経済学研究科に在籍する者
①　経済学部４年生
②　大学院経済学研究科（博士前期課程）
③　大学院経済学研究科（博士後期課程）

3　サービス開始日　令和２年８月３日（月）

4　申　請　先　図書館事務課連絡先：library-hp.eco+2020@nihon-u.ac.jp
対応時間は平日（月曜日～金曜日）の１０：００～１６：００となります。なお，１６：００以降に申請の場合は翌日（翌日が休館日の場合は休館明けの開館日）扱いとなります。

5　申 請 方 法　別記のとおりとします。

6　個人情報の取扱い　収集した個人情報については，本サービス対応以外に使用することはありません。なお，個人情報保護については，「日本大学における個人情報の取扱いに関するガイドライン」に基づいて管理します。
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/sitepolicy/policy/

7　備　　考　不明な点等がありましたら，図書館事務課連絡先までメールにて問い合わせてください。また，在籍ゼミの指導教員と連携をお願いします。

以　　上

別記　図書の郵送による貸出

⑴　貸出冊数と期間については以下のとおりです。
　　貸出冊数　５冊まで　※特別対応のため，通常貸出とは貸出冊数が異なります。
　　貸出期間　学部生：１ヶ月，大学院生：３ヶ月

⑵　OPAC で図書館（日本大学図書館経済学部分館）所蔵確認をする。
　　※所蔵していない図書，貸出中の図書は貸出ができません。
　　また，参考図書等の一部貸出不可の図書があります。

⑶　所蔵確認が取れた図書を，図書館事務課連絡先にメール（メール送信フォーム「図書の貸出郵送申請フォーム」のとおりに作成）で送信して下さい。電話などメール以外の手段での申請については受付できません。
　　※申請した図書が貸出不可の場合は，図書館から NU-Gmail にアドレスに連絡します。

⑷　貸出時の郵送料については図書館が負担します。

⑸　返却は，貸出図書の到着日から，貸出期間内に図書館カウンターに持参して下さい。なお，返却が期限内に困難な場合は，事前に図書館事務課連絡先にメールにて相談して下さい。

「図書の貸出郵送申請フォーム」

タイトル（件名）： 図書の貸出郵送申請
本文： ①氏名_ ②学科_ ③学生番号_ ④郵送先郵便番号_ ⑤郵送先住所_ ※マンション，アパート等名称と部屋番号まで正確に記載して下さい。 ⑥NU-Gmail アドレス_@g.nihon-u.ac.jp ⑦貸出希望図書情報（希望する冊数分記載して下さい。）_ - 1 冊目- ⑴書名（図書のタイトル） ⑵資料番号 ⑶請求記号 ⑷配架場所（〇階） - 2 冊目以降同様に 5 冊まで～

図書の郵送による貸出について（改正）

学部生及び大学院生の卒業・修士・学位論文等に対する研究支援の一環として，当面は下記のとおり実施いたします。

記

1　提 供 内 容　図書館（分館）所蔵図書の郵送による貸出

2　対　象　者　日本大学経済学部及び大学院経済学研究科に在籍する者
①　経済学部１年生～４年生
②　大学院経済学研究科（博士前期・後期課程）

3　開　始　日　令和２年９月２５日（金）

4　申　請　先　図書館カウンター：library2.eco@nihon-u.ac.jp
対応時間は平日（月曜日～金曜日）の１０：００～１６：００となります。なお，１６：００以降に申請の場合は翌日（翌日が休館日の場合は休館明けの開館日）扱いとなります。

5　申 請 方 法　別記のとおりとします。

6　個人情報の取扱い　収集した個人情報については，本対応以外に使用することはありません。なお，個人情報保護については，「日本大学における個人情報の取扱いに関するガイドライン」に基づいて管理します。
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/sitepolicy/policy/

7　備　　考　不明な点等がありましたら，図書館カウンターまでお問い合わせてください。

以　上

別記　図書の郵送による貸出

⑴　貸出冊数と期間については以下のとおりです。
　　貸出冊数　５冊まで　※特別対応のため，通常貸出とは貸出冊数が異なります。
　　貸出期間　学部生：１ヶ月，大学院生：３ヶ月（貸出延長は通常通り手続きしてください）

⑵　OPAC で図書館（日本大学図書館経済学部分館）所蔵確認をする。
　　※一部貸出不可の図書があります。（参考図書，指定図書，製本雑誌等）

⑶　所蔵確認が取れた図書を，図書館カウンターにメール（メール送信フォーム「図書の貸出郵送申請フォーム」のとおりに作成）で送信して下さい。電話などメール以外の手段での申請については受付できません。なお申請はメール受信の順番で対応します。
　　※申請した図書が貸出不可の場合は，図書館から NU-Gmail アドレスに連絡します。

⑷　貸出時の郵送料については図書館が負担します。

⑸　返却は，貸出図書の到着日から，貸出期間内に図書館カウンターに持参して下さい。なお，郵送にて返却を希望される際には，図書館カウンターに事前連絡し，図書を梱包し，ゆうパックで返却して下さい。（送料は御自身で負担して下さい。）
　　返却が期限内に困難な場合は，事前に図書館カウンターにメールにて相談して下さい。

「図書の郵送貸出申請フォーム」

タイトル（件名）：図書の郵送貸出申請
本文： ①氏名_ ②学科_ ③学生番号_ ④郵送先郵便番号_ ⑤郵送先住所_ ※マンション，アパート等名称と部屋番号まで正確に記載して下さい。 ⑥NU-Gmail アドレス_@g.nihon-u.ac.jp ⑦貸出希望図書情報（希望する冊数分記載して下さい。）_ - 1 冊目- ⑴書名（図書のタイトル） ⑵資料番号 ⑶請求記号 ⑷配架場所（〇階） - 2 冊目以降同様に 5 冊まで～

発 行 年 月：２０２１年１２月
発　行　者：日本大学図書館　経済学部分館